



深谷中だより



NO. 211

令和5年7月20日
横浜市立深谷中学校
校長 榎田 卓央

800万分の1の幸運をもつみなさんへ

明日から夏休みです。38日間の長い休業期間になります。健康に気をつけて、充実した日々を過ごしましょう。

先日、3年生理科の授業を参観しました。その日は“遺伝”についての授業でした。先生からの「みんなが、人として産まれてきた“確率”はどれくらいだと思う？」との問いかけに、生徒のみなさんはいろいろな回答を寄せていました。なかなか難しい問題だなあと教室の後方で聞いていて感じました。先生がやおらその正答を教えたところ、その確率に教室がざわめきました。その答えこそが、実は今号のタイトルである“800万分の1”だったからです。教室のあちらこちらから「ものすごい確率だね」と驚いた様子の感想が出ていました。

遺伝子学的には、確率の計算方法によって3億分の1の確率だという一説もありますが、800万分の1であれ、3億分の1であれ、いずれにしてもとても奇跡的な数字であることに変わりはありません。生徒のみなさんは、私もそうですが、産まれてきて、そして今を生きているということは、たいへん幸運な中にいるということなのです。

人は、母体の中で9か月あまりをすごして、赤ちゃんとしてこの世に産まれると、誰にも教わらないのに自分で空気を吸って、体を真っ赤にしながらこの世に誕生したことを主張します。そして少しずつ成長していき、いずれ大人になっていきます。中学生のみなさんは、子どもから大人に向かって成長している真っ只中なのです。

“誰もが安心して豊かに過ごせる”ようにと、深谷中すべての教職員は日々指導していますが、その理由の一つは、みなさん一人ひとりがここに書いたように高い確率の中に産まれてきて存在している貴重な人々の集団だからなのです。

夏休みという長期休業期間は、自分を見つめ直す絶好の機会です。改めて来し方を振り返ってください。そして自分や友人が、今回書いたように高い確率の中にいる貴重な存在であることを確認し、自他の将来に思いを馳せてみましょう。



令和5年 深谷中学校 人権標語

きみの「フツウ」は だれかの「トクベツ」